



7月号

平成28年7月12日

【発行】御嵩町教育センター  
可児郡御嵩町御嵩1239-1

TEL (0574) 67-2111 FAX (0574) 67-1902

E-mail m-kngnkk@town.mitake.lg.jp

ホームページ URL: <http://www.town.mitake.lg.jp/~pouki/ashita/ashita-top.html>

# 朝霧



## “本校の教育” ～生徒の目線・立ち場に立った教育の推進～



岐阜県立東濃高等学校長 平井 学

### 歴史と伝統のある東濃高校

東濃高校は、満120年を迎えました。これから先も、「なくてはならぬ」学校として存在し続け、生徒諸君も「なくてはならぬ人」として、地元で活躍してほしいと願っています。御嵩“町”立東濃高校として、今後ともよろしくお願ひします。そこで、今年度の本校教育について、皆さんにお伝えします。

#### 1 学習指導・教科指導について

##### (1) 授業の充実・授業改善

- ① 生徒の実態、進路希望に合わせた授業を行います。
  - ・生徒が意欲的に取り組む授業を行います。
  - ・どの生徒にも分かる授業を行います。
  - ・規律の徹底と質の向上を図り、落ち着いた雰囲気の中で成果が表れる授業を行います。
- ② 「評価の可視化」…評価を目に見える形で表します。
- ③ 「加点法による評価」…できた場合には加点する評価法を行います。
- ④ 「授業のユニバーサルデザイン化」…インクルーシブ教育を見据えた指導を行います。例えば、チョークの色や数の限定、授業の見通しを示すためのフローチャートの利用など。

##### (2) コミュニケーション能力の育成

- ・数年続けている演劇表現ワークショップを継続します。
- ・キャリア教育を通じて、プレゼンテーション能力を高めます。

##### (3) 外国人生徒等への支援

- ・外国人生徒のための国際クラスを各学年に配置し、日本語習得のために教科「日本語」を各学年に設定します。
- ・外国人生徒と日本人生徒が協働できる活動の研究を行います。

##### (4) 7類型の検証と今後についての研究

- ・設置している7類型（社会科学、国際文化、

自然科学、看護・保育、地域づくり、ビジネス、工業技術）の検証と今後についての研究を行います。

#### 2 生徒指導・特別活動について

##### (1) 道徳心を育む指導の徹底

- ① 基本的な生活習慣の確立と規範意識向上を目指します。
  - ・「あじみのできる学校」（あいさつの励行、時間を守る、身なりを正す）を合い言葉に指導します。
  - ・身なり指導…定期的な身なり集会を行っています。また、授業における身だしなみ指導の徹底を図ります。
  - ・マナー指導…教室内の美化や登下校、電車内のマナーなど厳しく指導します。
- ② いじめ問題の未然防止のために全力を尽くします。
- ③ 情報モラル教育を充実させます。

##### (2) 全職員共通理解と指導の徹底

- ・どのようなことも見逃さない、誰もが同じ指導をする体制をとります。

##### (3) 部活動・ボランティア活動の活性化

- ・活気と思いやりの心の醸成を図ります。

#### 3 進路指導について

##### (1) キャリア教育の推進

- ・勤労観・職業観の育成  
特に1年生に対するガイダンス事業を中心に実施します。
- ・進路目標実現に向けてのスキルの習得  
進学・就職指導の充実を図ります。
- ・外部人材の活用  
PTA、県庁、町役場、国際たくみアカデミー等との連携を図ります。

##### (2) 学力の向上

基礎学力の充実を図り、卒業後の進路を見据えた指導を行います。授業ではドリル等を活用し、また、補習や模試等の利用を図り、個に応じた指導を行います。



平成28年度  
御嵩町少年の主張大会  
H28.6.18(土)

【最優秀賞受賞】

“生きて”



共和中学校3年 浅野 梨花

いつもと同じように目覚め、朝食を取り、交わされた「行ってきます。」「行ってらっしゃい。」の会話。そんないつもの光景がある日突然なくなってしまったら…。

五月九日、東京で、女子中学生が二人で手をつないで電車で飛び込み自殺をしたという痛ましい出来事が起こりました。

私は、自分の命を絶つことは、あってはならないと思っています。だから、このニュースを聞いた時、強いいきどおりを感じてなりませんでした。

なぜ二人は死を選んでしまったのでしょうか。きっと、いきなり死にたいとは思わなかったはず。仲が良い二人なら、そこに行きつくまでに相談し合っていたはず。彼女達は互いの存在に温もりを感じなかったのでしょうか。向けられた笑顔に、触れ合った手に、幸せを見い出せなかったのでしょうか。

私の曾祖母は、ある日突然、交通事故にあい亡くなりました。ついこの間まで私の名前を呼んで、微笑んでくれていた曾祖母の突然の死。その知らせを受けたとき、私はしばらくの間、何も考えることができませんでした。曾祖母の笑い声も、私の名前を呼ぶ声ももう聞くことはできません。時々ぎゅっと握ってくれたあの温もりを感じることはできません。まだ、生きられたのに…一緒にしたいこともたくさんあったのに…。この思いをどこにぶつければいいのか分からないやせなさで、一杯になりました。悲しくて、悔しくて…。心に大きな穴があいたようでした。

残された者の思いというのはこういうものです。残された家族はこういった思いを一生背負って生きていくことになるのです。ある日突然、別れを告げられることなく残されてしまった家族の思いを、思いやることはできなかったのでしょうか。もし、そのどちらかでも少しでも感

じることができていれば…。それが残念で仕方がありません。

自分の命の価値は自分だけでは決められないと私は思います。自分が死んだら、昨日までと一緒にできていたことが、今日からできない悲しみや寂しさで心に穴があいてしまう人がいるのです。この世には、他人に命を奪われて亡くなってしまった人、病気で亡くなってしまった人など、生きてくても生きられなかった人がたくさんいます。一つの命がこの世に誕生するのは、四億分の一つの確立だと言われています。四億分の一の奇跡なのです。その奇跡によって生まれて命を、この世に生み、育み、支えてくれた思いを知ってください。今ここにいる幸せに気づいてください。命を大切にしてください。生きて、人と関わる喜びを感じ、その喜びを人とわかち合えば、自分の命の価値が自分だけでは決められないということがきっと見えてくるはずです。

あなたに来る「今日」という日は当たり前ではなく、誰かが生きたかった「明日」なのです。その命はとても尊く、何ものにも代え難い大切なものです。代わりになる人なんて、この世に存在しません。あなたがいなくなることで、心に深い傷を負って生きていく人がいます。だから自分の命を絶つことは、絶対してはいけません。

いつもと同じように目覚め、朝食を取り、交わされた会話。そんないつもの光景に幸せを感じて…生きて。





## 御嵩町少年の主張大会

H28. 6. 18 (土)

「平成28年度 御嵩町少年主張大会」が開催され、町内の各小中学校および高校の代表者14名が、堂々と自分の思いや考えを発表しました。

当日の司会は向陽中3年生の可児みなみさんと亀井菜々子さんが行いました。発表内容は、学校や家庭での生活の中から感じたこと、家族のこと、環境に関すること、将来のこと、社会の出来事についてなど、発表者のテーマは多岐に富みました。200名を超える参加者の中で、堂々と主張する姿は大変立派でした。

審査の結果、前頁に紹介した浅野梨花さん(共和中3年)が最優秀賞に選ばれ、中濃地区選考会に進むことになりました。



▲ 渡邊町長と一緒に全員で記念写真  
(H28. 6. 18 御嵩町中公民館 3階大ホール)



## 御嵩町少年の主張大会 発表者の皆さん 敬称略

学校名	学 年	氏 名	発表題名
上之郷小	6年	山田 一登	ともに生きる気持ち
	6年	小木曾祥規	「共助」について考える
御嵩小	6年	可児 聖翔	親の気持ち
	6年	日比 椎菜	障がいのある子とくらす
伏見小	6年	亀谷 優歩	つくろう！古墳の町、御嵩町
	6年	林 里瑚	中山道を次の代につなぐ
上之郷中	2年	問屋 友吾	言葉の力
	2年	猪野日向子	受け継がれる 舂五山茶
向陽中	2年	林 楓真	森林について考えたこと
	2年	平田 万葉	バリアフリーの必要性
共和中	3年	浅野 梨花	生きて
	3年	吉田 奈桜	私の夢が生まれた瞬間
東濃高校	3年	愛澤かろりな	私が生きていく日本に希望すること
東濃実業高校	3年	清水 宏保	森林と地球の未来





## “ 話をする事 生活リズムをつくること”

～共和中保健室の取組～

共和中学校養護教諭

田中 榮 里 子

「ねむい!」「えらい!」「もう無理!」  
と言って、心身の不調を訴えて保健室に入  
ってくる子がいます。そんな時私は「どうした  
の?」「まあ、座って!」と言って席をす  
すめています。時には何も言わずに保健室に入  
ってきて、何を言うのでもなく、そのまま退室  
していく子もいます。そんな子どもたちに対  
して、常に声をかけ「話をする事」と「生  
活リズムをつくること」を、大切に指導  
しています。

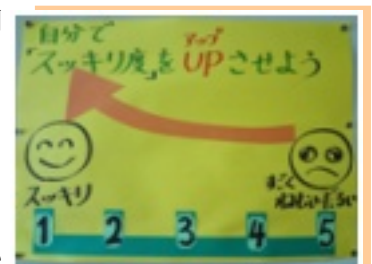
子どもたちとのコミュニケーションにおい  
て、私は「言葉を通して気持ちを伝えること」  
を意識しています。なぜなら時間をとって、  
ゆっくりコミュニケーションを図ることで、  
自分を見つめるきっかけをつくってほしいと  
願うからです。そのために、笑顔でゆとりを  
もって接するように心がけています。ポツポ  
ツと語られる言葉に耳を傾け、なるべく子ど  
もの思いにズレのないように、子どもの気持  
ちに寄り添い、心で感じるようにしています。  
子どもたちは、話すことで気持ちを整理し、  
自分が気になっていたことを自覚することが  
でき、少しずつ表情もやわらかくなっていき  
ます。話すことで、悩みや不安がすべて解決  
したり、解消されたりするわけではないので  
すが、少しでも不安が減ってくればと思い  
ます。「少し楽になった。」「なんとかやれ  
そう。」「自分の気持ちを友だちに話して  
みる。」と言って保健室を出て行く子ども  
たちの後ろ姿を見ながら、心の中で「頑張れ!」  
と見送っています。

子どもとの対話の中では、0から100%ま  
での数値で自分の不安等を表してみることを、  
行っています。たとえば、「不安感が80%だ  
ったけど、話した後は50%に減った。」とい  
うように数字と心の不安をつなげてみると、心  
の変化を、本人が実感しやすくなってきます。  
そして子どもができそうなことを、一緒になっ

て考えてみます。人と比較したり、無理な一  
歩を踏み出そうとしたりするのではなく、自  
分ができそうなことやペースを、自分で決め  
てやってみることを大事にしています。この  
ことを続けることで、自己肯定感が高まるこ  
とにつながるのではないかと、考えています。

次に、心の安定につながる「生活リズムづ  
くり」については、本校では、心身の「スッ  
キリ度」を1から5の数値で表すなど、自ら  
生活リズムをつくる力を育てることに、取り  
組んでいます。「睡眠・朝食でスッキリ週間」  
では生活の目標をたて、睡眠時間、学習時間、  
メディアの時間をグラフに表して、自分の生  
活を見直すことができるようにしています。

また、睡眠や朝  
食をしっかり  
とることにより、  
「スッキリ度」  
を上げられるこ  
とを、実感でき  
るようにしてい



ます。「寝る時刻が遅くなると体がだるくな  
り、スッキリ度が悪くなってきたので、早く  
寝ていい気分勉強したい。」「睡眠時間は  
7時間以上とり、朝食もしっかり食べたらスッ  
キリ度を1にすることができた。」などの感  
想がみられるようになっていきます。少しづ  
つ生活をコントロールしている子どもたちの  
「生活カード」に、コメントを書き込みなが  
ら、子ども自らが生活リズムも向上するよ  
うに応援しています。日々の声かけもし  
ながら、自分が調子よく過ごすことが  
できる生活リズムづくりに役立てばと願  
っています。

これからも、保護者の方や先生と連携を  
図りながら、子どもたちの成長を見守  
っていきたいと思います。



# “今、私ができること”



御嵩小学校教諭 水野 優子

今日、子どもを叱りました。Aさんが授業中にプリントに落書きをしていたことを、隣の子が話しにきたのです。理由を尋ねると、Aさんはうつむいて「やることが終わって、退屈で、することがなくて……。」と答えました。「プリントに自分の考えを書いたら、次は発表するんですよ。なによりも、授業のプリントは落書き帳じゃないです…。いつも班長として呼びかけをがんばっているAさんが授業中に遊んでしまっていて、先生はすごく残念だよ。」と話しました。そう言いながら私は、Aさんのがんばりを、本当に認めているのだろうかと思えてなりません。授業をすることに必死で、Aさんが授業中に落書きをしていることにすら、気がついていなかったのです。

今、私は小学生の私が憧れ、高校生の私が目指した職業についています。けれども憧れだけではなかなか上手くいきません。褒めるよりも子どもを叱ることが多いようで、しか

もその後も、今のやり方でいいのだろうか、もっとこんな授業をすればよかった、と後悔することがあります。一人ひとりの子どもの様子も、まだまだ十分に見きれていません。

そんな悩みの中、子どもたちは「ドッジボールやろうよ!」と誘い、「先生、僕、これだけがんばったよ。」と宿題のノートを朝一番に見せ、私の指導したことを受けとめ、応えてくれます。私が話し終わったとき、Aさんは私の目を見て、「ごめんなさい。次から気をつけます。」とはっきり答えました。今、子どもたちのために、私ができること。まずは、子どものよさをしっかり見届けることです。子どもたちの様子や気持ちをじっくり見たり感じたりして、よさやがんばったことを見逃さずとらえ、認め、指導ができるよう、努力していくことだと思います。

## 御嵩町「教育の集い」

八月二十二日(火)

九時～十一時四十分

御嵩後場北庁舎三階

中・大会議室

御嵩町の教育について

教育委員会表彰

今年度も御嵩町教育委員会の表彰規則に基づいて、御嵩町の教育・学芸・体育その他の文化の向上発展に功績が顕著であった団体や個人を表彰します。

中学生英語スピーチ

八月二十二日(月)に行われる可茂地区中学生英語スピーチコンテスト参加者の中から、各学校一人ずつ行っていました。

教育講演会

\*講師 トヨタ工業学園

学園長

田口 守 様

\*演題 『未来に伸びよ

企業内訓練校の教育・訓練』

世界のトヨタを支えるモノづくりの

リーダーを育てる

皆さんのご参加をお願いいたします



◇平成28年度 可茂地区中学校総合体育大会 陸上競技 敬称略



(H28. 6. 11(土) 会場：土岐市総合グラウンド)

男子

2年 100m	2位	加藤 淳也 (共和中2年)	12"74
共通 400m	5位	永瀬 光輝 (向陽中3年)	56"86
1年1500m	4位	木村龍之助 (上之郷中1年)	5' 03"30
	5位	櫻井 翔弥 (共和中1年)	5' 05"72
2年1500m	2位	藤田 陽成 (共和中2年)	4' 52"20
	4位	新井 智大 (向陽中2年)	4' 54"26
共通走幅跳	4位	小嶋 快 (向陽中3年)	5m28
	5位	野嶋 大河 (向陽中3年)	5m19
共通砲丸投	8位	藤掛由己也 (向陽中2年)	7m96

女子

共通800m 2位 猪野日向子 (上之郷中2年) 2' 30"91

どの選手も精一杯頑張り、立派な結果を残しました。7月24日(日)にGMC長良川競技場で行われる岐阜県大会に出場する皆さんには、さらなる挑戦を応援します!



◇岐阜県中学生卓球選手権

男子団体 準優勝 (向陽中)  
個人 3位 竹尾 優太郎 (向陽中2年)



研究会・研修会報告



研究構想の交流を行いました。具体的な研究内容として「児童・生徒理解」とそれを踏まえた「指導計画」「学習過程・学習形態(グループ活動等)」「評価」等の工夫・改善について話し合いました。今後、実践を進め、2学期に公開授業を行っていただく予定です。次回の調査・研究会は7月26日(火)です。テーマは「協同学習を活用した授業づくり」です。(夏期研講座と兼ねます。)

「9月の児童生徒の姿をイメージした7月の指導」をテーマに、9月スタートの足場をつくる7月の指導や、夏休み指導の留意点について研修しました。また、夏休みの自己課題や自己研修の意義について、先輩の先生からお話を伺いました。次回は、10月13日(木)です。内容は特別活動(行事を通じた集団作り、班ノートを通じた学級経営の実践)の予定です。

第2回 調査・研究会 6月16日(木)

第2回 パワーアップ研修会 6月30日(木)



コミュニケーション・ストラテジー  
Communication Strategies

English Care



授業中、ALTの先生の英語を子どもたちが理解できない場合があります。

その時、簡単なのは日本語で補うことですが、それが必要なときもあります。しかし、できるだけ英語で分かるようにしたいものです。

“Pardon me.” “Say it again, please.” “Excuse me.”

などと、問い返す力を育てることも大事です。また、私たちが別の方法で伝えることも可能です。

実際にこんな場面がありました。6年生で“How many birds?”と問われて

分からなかったとき、担任の先生が、“One, two, three..., How many birds?”と別の尋ね方をされて、子どもたちの表情が明るくなり、活動が進みました。このようなコミュニケーションを図る方法をストラテジー(方略)といいます。ジェスチャーや絵、モデル会話もそのひとつです。

「英語の時間はできるだけ英語で」と、工夫をしていくことで、先生も子どもたちもこうした力が高まると思います。



外国語教育指導員 日比野武志



# オアシス教室から



## “学校との連携”

オアシス教室は、不登校児童生徒及び要支援児童生徒に対応するため、各校と連携し取り組んでいます。学校訪問をして情報交換や担当の先生と懇談をしたり、次の会合を行ったりしています。

各校担当者との 「カウンセリング担当者会」	年間3回 (学期1回)	学校の対応方針や児童生徒の実態交流 カウンセリング活動の効果的な推進
各校教育相談員との 「スタッフ会議」	毎月1回	不登校児童生徒の月々の情報と支援方法の交流

こうした会合や情報交換から要支援児童生徒の情報を早くつかみ、必要と判断されればオアシス教室通級や、町カウンセラーによるカウンセリングにつないでいます。

通級している児童生徒の学校の担当の先生方も、オアシス教室を訪問され、対象児童生徒と共に活動しながら、互いに関係づくりに努めていただいています。

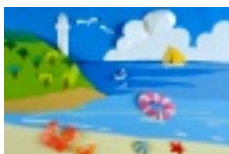
この先生方は、通級児童生徒がいずれ学校復帰を目指し一歩を踏み出す時、学校の相談室などで中心になって、彼らと日々の対応をしてくださる先生方です。だからこそ、日頃から関係づくりを大切に、その時をいつ迎えてもよいように準備をされています。

ある研修会で講師が話された言葉がよぎります。「その子(要支援児童)の実態は、その子と共に活動してみないとわからない。まして、その心は理解できない。心も理解できないまま、表面的な対応をしていても彼らには何も届かない。」

改めて、こうした先生方のきめ細やかな児童生徒への理解や対応に、うれしく思います。なかなか即応的に成果は出ませんが、学校内の連携、学校と家庭との連携、そして、その連携にオアシス教室も加えていただきながら、今後も進めていきたいと思っています。どうかよろしくお願いします。

### 【7月の活動紹介】

## “うどん”づくりにチャレンジ



7月5日に今年度初めての調理実習を行いました。参加する3名の子どもたちは、調理実習が大好き。事前の希望調査で、今回は“うどん”をつくろうと決めました。



昨年度のピザづくりやケーキづくりに参加し、粉を煉ることについてはお手のもの子どももいます。簡単な説明を受けたら、後は自分たちで計量器を使い小麦粉、薄力粉を計り分け、塩少々を加えた水で混ぜ始めました。生地を寝かし、いよいよ伸ばします。これもピザの経験から上手いもの。粉をふりかけ生地がくっつかないようにしながら三つに折り、いよいようどん切りです。



「ほうとう」「きしめん」「そうめん」と、麺の太さは子どもによって違いましたが、それもなかなか面白く、湯がいたらさらに太さが増す麺にも驚きながら完成させました。葱、油揚げ、蒲鉾、竹輪、天かす、こちらも手づくりの温泉玉子など、好みの具を載せて楽しくいただきました。食後には、みんなで片づけをしながら、「今度は、ぶた鰻をつくろう。」「いや、大福餅がいい。」と、はや次の調理実習のことが話題に。また、これもいつもなのですが、



「家でもつくって、みんなに食べさせたい。」「お母さんと一緒につくりたい。」といった声も上がりました。味に、子どもたちの姿に、満足、満足です。

★7月・8月のカウンセリング日 7/5(火)、7/12(火)、7/19(火)  
8/2(火)、8/9(火)、8/16(火)、8/23(火)、8/30(火)



**教育センター巡回図書で 読書の時間！**

新刊に『みたけ今昔物語』など、「中山道みたけ館刊行物」の4タイトルを選びました。御嵩町を知る本としておすすめです。その他にも、今日的な教育題材の本がBOXに入って職員室にあります。



『ぼけっと第70号』の表紙は御嵩駅です。8月6日(土)に御嵩駅周辺で行われる「よってりやあ、みたけ」について、詳しく掲載しています。その他、夏のイベントやエコ講座、子ども達から寄せられたイラストやメッセージなどを、ご紹介。学校等への配布のほか、町内の公的機関、銀行、病院、コンビニに、置いてあります。夏休みの生活にご利用ください。

# 文化財探訪

No.22

## 民衆の力によって再建された願興寺を守る その4

平成28年3月3日の国指定重要文化財願興寺本堂修理等検討委員会にて、文化財建造物保存技術協会(文建協)が現地調査の結果を説明しました。その説明を前回に続いて報告します。

はじめに柱の足元の状況です。本堂の重要な基礎となる柱の一部には、シロアリにより、このように完全に空洞化してしまっているところがあります。



▲柱の足元の状況

次に本堂の床板の状況です。本堂が再建された約400年ほど前の当時のもの、その後追加されたもの、昭和になって追加されたものなどが混在しており、特に古い床材は傷みが激しい状況です。



▲本堂の床板の状況

## 7・8月の主な行事

## 8月

## 7月

- 1日 上小/5年宿泊研修
- 2・3日 中体連可児市郡大会
- 4日 向中/3年実力テスト
- 7日 向中/家庭教育学級
- 8日 上小/命を守る学習
- 〃 御小/家庭教育学級
- 12日 上小/放課後子ども教室 向中1年/栄養指導
- 16日 伏小/ボランティア草刈り
- 16・17日 中体連可茂地区大会
- 18日 海の日
- 20日 第1学期終業式
- 21日 伏小/個人懇談～7/26 共中/三者懇談～7/26
- 22日 御嵩町手をつなぐ育成会ふれあい活動
- 23日 中体連県大会～7/31
- 〃 上之郷公民館盆踊りの夕べ
- 〃 中公民館夏まつりの夕べ
- 24日 御嵩公民館どろんこ遊び&しゃぼん玉遊び
- 25日 上小/下川小児童来校
- 〃 御小/個人懇談～7/29
- 〃 上中/三者懇談～7/26 向中/三者懇談～7/29
- 26日 教育センター講座(授業づくり講座)  
調査・研究員会の研修会
- 28日 教育センター講座(御嵩町を知る)
- 30日 伏見地区夏祭り

- 2日 教育センター講座(特別支援教育)
- 3日 教育センター講座(「道徳の時間」の実践)
- 4日 教育センター講座(小学校外国語活動)
- 5日 教育センター講座(御嵩を考える『どたんば』)
- 〃 オープン校内研修会(上小中/教育相談①)
- 6日 よってりやあみたけ夏祭り
- 9日 オープン校内研修会(伏小/学習力をつける)
- 10日 共中校区/小中交流会
- 〃 オープン校内研修会(上中/教育相談②)
- 11日 山の日
- 12日 英語サマーワークショップ
- 17～21日 森と未来を切り拓く環境都市交流体験プロジェクト
- 20日 御小/PTA奉仕作業 向中/親子愛校作業KCV
- 〃 上中/PTA親子作業
- 21日 伏小/PTA奉仕作業
- 22日 中学生英語スピーチコンテスト
- 〃 オープン校内研修会(御小/歯の健康講話)
- 23日 御嵩町「教育の集い」
- 〃 上中校区/向中校区/小中交流会
- 24日 オープン校内研修会(共中/応急手当研修)
- 27日 上小/PTA環境美化作業 共中/PTA奉仕作業
- 29日 第2学期始業式
- 30日 向中確認・実力テスト